

備前市スポーツ推進計画  
(令和3年度～令和12年度)

備前市教育委員会

## 目次

はじめに	.....	1
第1章 計画の概要	.....	2
1 計画策定の趣旨	.....	2
2 計画策定の位置づけ	.....	3
3 計画の期間	.....	3
4 計画の目標	.....	3
第2章 備前市におけるスポーツの現状と課題	.....	
1 生涯スポーツ	.....	5
1-1 個別の取組状況	.....	5
(1) 現状	.....	5
(2) 課題	.....	6
1-2 団体活動の現状と課題	.....	7
(1) 備前市スポーツ協会	.....	7
(2) 備前市スポーツ少年団	.....	8
(3) 総合型地域スポーツクラブ	.....	9
(4) 海洋クラブ	.....	9
2 子どものスポーツ及び運動能力	.....	10
(1) スポーツ習慣	.....	10
(2) 運動能力	.....	11
3 競技スポーツ	.....	12
(1) 大会の開催	.....	12
(2) 競技レベル	.....	12
4 スポーツ施設	.....	13
(1) 社会体育施設	.....	13
(2) 学校体育施設	.....	15
	.....	
第3章 計画の理念と体系	.....	17
	.....	
第4章 基本施策	.....	18
1 生涯スポーツの推進	.....	18
1-1 各世代におけるスポーツ機会の充実	.....	18
(1) 幼児期・幼少期	.....	18
(2) 青少年期	.....	18

	(3) 壮・中年期	.....	18
	(4) 高齢期	.....	19
1-2	スポーツを取り巻く環境づくり	.....	19
	(1) 学校体育及び部活動への支援	.....	19
	① 学校体育の推進	.....	19
	② 運動部活動の向上	.....	19
	(2) 障がい者スポーツの支援	.....	19
	① 障がい者スポーツの機会づくり	.....	19
	② 障がい者スポーツ普及の環境づくり	.....	20
	(3) スポーツの多様化	.....	20
1-3	スポーツ実施のための体制づくり	.....	20
	(1) スポーツ推進委員活動の推進	.....	20
	(2) 体育関係団体の活動の巢振	.....	20
	(3) 総合型地域スポーツクラブの推進	.....	20
	(4) スポーツ指導者の養成と資質の向上	.....	21
	(5) トップレベルで活躍進選手等への支援	.....	21
2	スポーツ施設の整備・活用	.....	21
2-1	施設及び設備の整備	.....	21
	(1) 安全な施設の維持管理	.....	21
	(2) 多様性への対応	.....	21
	(3) 競技レベルの向上のための施設整備	.....	21
2-2	施設の利用促進	.....	22
	(1) 社会体育施設	.....	22
	(2) 学校体育施設	.....	22
3	スポーツによる地域活性化	.....	22
3-1	競技スポーツを通じた地域活性化	.....	22
	(1) スポーツ合宿の誘致	.....	22
	(2) スポーツイベントの誘致・開催	.....	23
3-2	スポーツツーリズムの推進	.....	23
	(1) スポーツを活用した新たな価値の創出	.....	23
	(2) スポーツコミッションの設立	.....	23
3-3	「市民」と「スポーツ」の関わり方	.....	23
	(1) スポーツと密接したまちづくり	.....	23
	(2) スポーツボランティア文化の醸成	.....	23
3-4	魅力の発信	.....	24

第5章 計画の推進	.....	25
1 推進体制	.....	25
2 進行管理	.....	25

## はじめに

近年、少子高齢化や情報化の進展による社会変化に伴い、市民のスポーツに対する考え方やニーズが多様化し、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも、スポーツに親しむための環境整備が求められています。

このような現状の中で、本市では週 1 回以上のスポーツ実施率を 48%以上と定め「備前市スポーツ推進計画」を策定しました。

この計画は令和 3 年から 10 年間にわたる本市の指針として「生涯スポーツ社会」の実現を目指すものです。

現在、市内施設を活用し、市民の多くがスポーツを行い、その活動は、気軽に楽しむものから競技力向上を目指すものまで様々です。

計画では、これらの施設を有効に活用し、市民の誰もが幼児期から高齢期まで生涯に渡りスポーツに親しめるよう、環境整備の充実を盛り込んでいます。

今後、今基本計画に基づき、施策を展開するに当たりましては、スポーツ関係団体をはじめ、市民の皆様がたと協働して取り組んでまいりますので、より一層の御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

終わりに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提言を賜りました備前市スポーツ推進審議会委員の皆様をはじめ、関係各位に対しまして、心から感謝を申し上げます。

令和 3 年 11 月

備前市教育委員会

## 第1章 計画の概要

### 1 計画策定の趣旨

本市では、「生涯スポーツ社会」の実現を目指し、平成23年度から10年間にわたる指針として「備前市スポーツ振興基本計画」を策定し、市民の誰もが幼児期から高齢期まで生涯にわたりスポーツに親しめるよう、スポーツ活動の環境整備及び充実に取り組んできました。

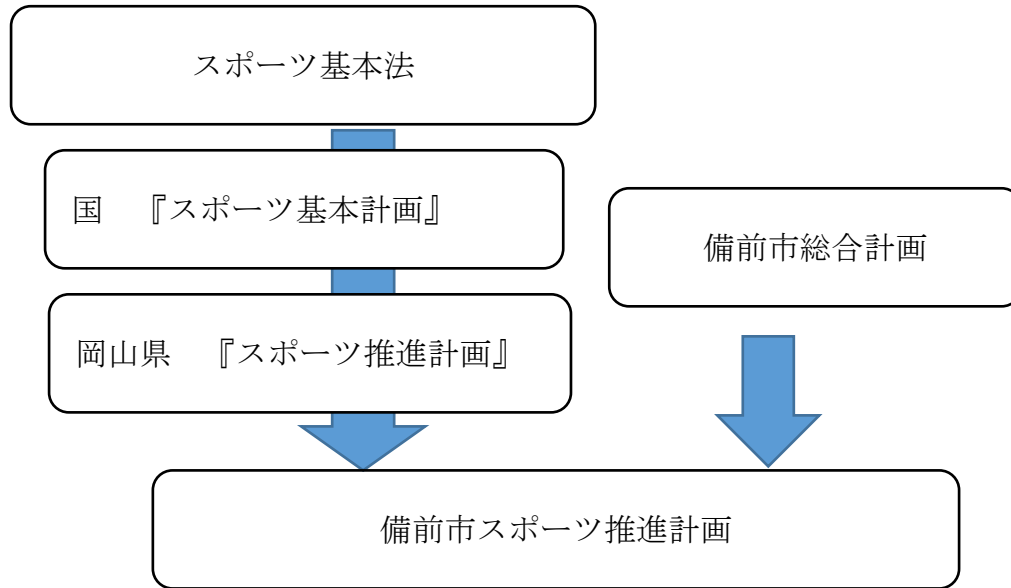
国では、平成22年8月に新たなスポーツ文化の確立を目指し、「人(する人、観る人、支える(育てる)人)の重視」と「連携・協働の推進」を基本的な考え方とするスポーツ立国戦略を策定し、概ね10年間で実施すべきスポーツ施策の基本的な方向性を示しました。平成23年に、「スポーツ振興法」を全面改正し、同年8月に地方公共団体の責務やスポーツ団体の努力等を定めた「スポーツ基本法」が施行されました。この基本法に基づく「スポーツ基本計画」の策定により、スポーツを通じて目指すべき社会の姿を「スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことが出来る社会」とし、スポーツ推進の基本方針や施策を総合的かつ計画的に推進しています。

岡山県では、平成24年3月に「第3次おかやま夢づくりプラン」を策定し、同年7月には「岡山県スポーツ推進条例」を制定しました。また、すべての県民がスポーツに関わり、スポーツの力で楽しく健康でいきいきと暮らせる岡山となるよう「岡山県スポーツ推進計画」を策定し、「スポーツ立県おかやま」の実現を目指しています。

備前市では、平成25年度に第2次備前市総合計画を策定し、10年間の見通しをたてています。そこでは、スポーツ・レクリエーション活動の推進として「誰もが、いつでもどこでも気軽に継続してスポーツを楽しめる環境が充実し、それぞれのライフスタイルにあったスポーツが生活の中への定着している生涯スポーツ社会の実現」を目標にしています。具体的にはスポーツ施設の整備、働き世代の生涯スポーツの充実、スポーツによる地域の活性化により、この目標を達成するための基本指針として「備前市スポーツ推進計画」を策定します。

## 2 計画策定の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法第10条に規定する地方スポーツ推進計画として策定するものであり、スポーツ基本計画や岡山県スポーツ推進計画との整合性を取りながら、備前市総合計画の部門計画となる計画です。



## 3 計画の期間

本計画の期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間とします。

ただし、進捗状況や社会情勢の急激な変化などが生じた場合は、必要に応じて見直しを行います。

## 4 計画の目標

### 「生涯スポーツ社会の実現による活力あるまち」

スポーツは、体を動かすという人間が本来持ち合わせている欲求に応え、精神的充足をもたらす世界共通の人類の文化の一つであり、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠のものです。

市民の誰もが、「いつでも」「どこでも」「いつまでも」ライフステージに応じて気軽にスポーツを楽しむきっかけづくりができるよう環境づくりを行います。そのために関係団体と連携した取り組みを推進し、その体制を充実、

強化するとともに、スポーツ施設の適切な整備、活用を行い、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指します。

すべての人々が「する」「みる」「ささえる」といった様々な形で積極的にスポーツを楽しみ、喜びや感動を得ることで、ひとりひとりが生きがいを持ち元気で、豊かな潤いのある暮らしや活力あるまちとなるよう目指します。



## 第2章 備前市におけるスポーツの現状と課題

### 1 生涯スポーツ

#### 1-1 個別の取組状況

##### (1) 現状

令和元年度備前市市民意識調査の結果、スポーツ(運動)を定期的に行っている方(「週に2日以上行っている」と「週に1日は行っている」の合計)は335件〔図1〕であり、全体の約35%となっています。また、経年推移(H22~R1)〔図2〕を見ると40%前後で推移し、やや減少傾向にあります。

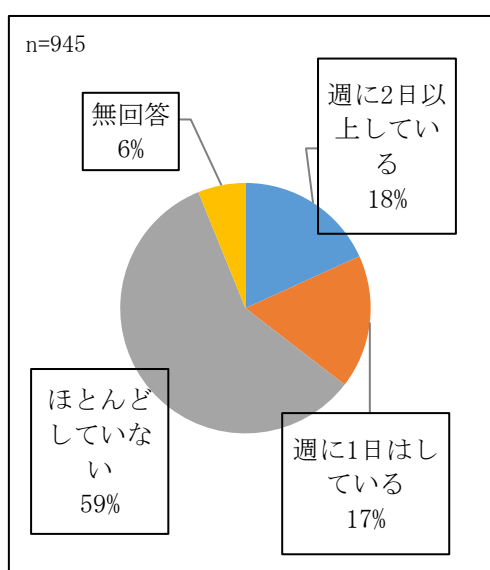


図1 スポーツ(運動)の取組頻度

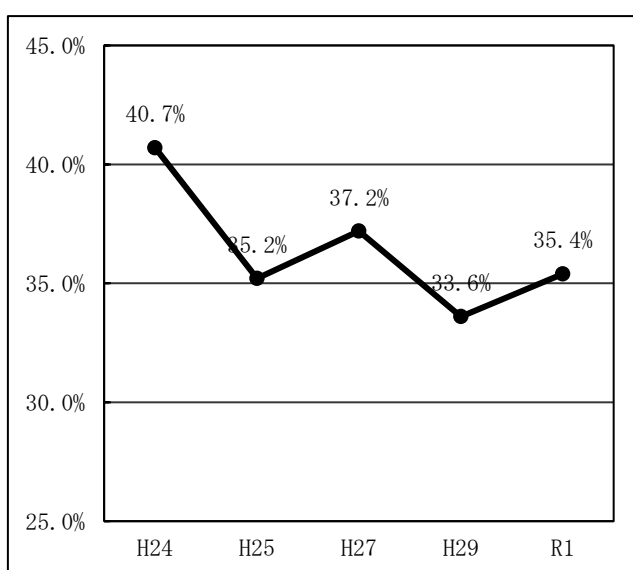


図2 スポーツ(運動)を定期的に行っている方の経年推移

属性別(性別)集計結果〔図3〕を見ると、スポーツ(運動)を定期的に行っている方の割合(「週に2日以上している」と「週に1日はしている」の合計)は、男性37.6%に対して女性が33.9%と男性の割合がやや高くなっています。

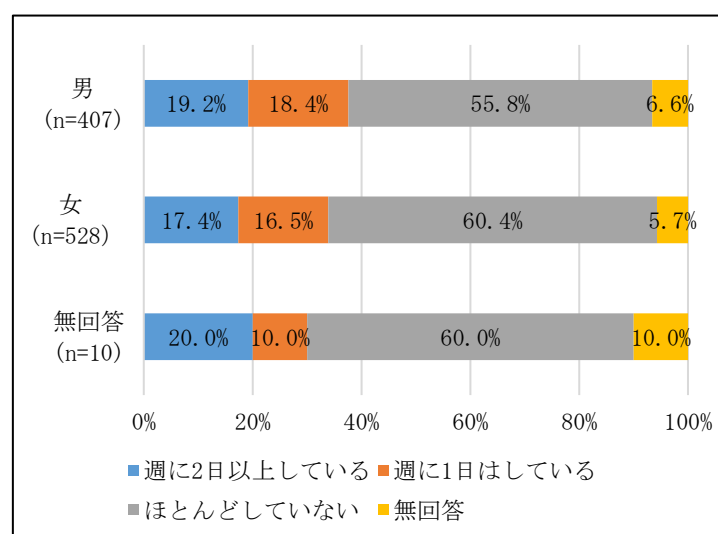


図3 属性別(性別)に見たスポーツ(運動)の取組頻度

属性別(年代別)集計結果[図4]を見ると、定期的に行っている方の割合(「週に2日以上している」と「週に1日はしている」の合計)は、10歳代、70歳代、60歳代が他の年代よりやや高くなっています。30歳代については、約70%の方がスポーツ(運動)をほとんどしていないという結果になっています。

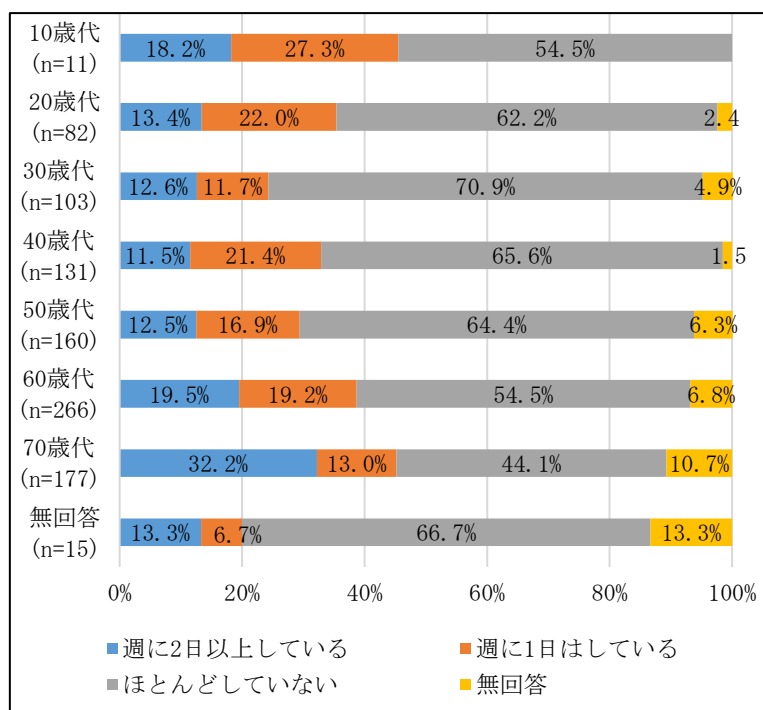


図4 属性別(年代別)に見たスポーツ(運動)の取組頻度

## (2) 課題

スポーツの取組状況からわかるとおり、定期的に行っている方は減少傾向にあります。要因として、20歳代から50歳代のスポーツ実施率が低いことが挙げられます。上記の世代は、労働や子育て等でスポーツに取組みにくい年代と思われませんが、心身の健康等を考えた際、やはりそのような世代もスポーツに触れる機会の充実に努めなければなりません。

そのためには、気軽に軽スポーツを楽しめる施設やスポーツ教室を指導できる人材の育成や確保に取り組む必要があります。

## 1-2 団体活動の現状と課題

### (1) 備前市スポーツ協会

備前市のスポーツ推進の中核を担う備前市スポーツ協会では、[図 5]のとおり構成されています。大きく、地区活動を支える部門と競技活動を支える部門に分かれています。地区活動では、地区単位でのスポーツ大会の開催やスポーツ振興を行っており、競技活動ではそれぞれの競技ごとに大会の開催やそれぞれのチームにおける活動を行っています。

登録者数については、[図 6]のとおりであり令和元年度に初めて3千人を下回りました。

また、備前市スポーツ協会加盟の競技団体は[表 1]のとおりで、現在13の加盟団体が所属しています。

競技活動においては、登録者数が減少していることの大きなあおりを受けていませんが、地区活動については、人口減少や高齢化を受け、地区のスポーツ大会等を開催しても参加者が集まらない等の課題があります。

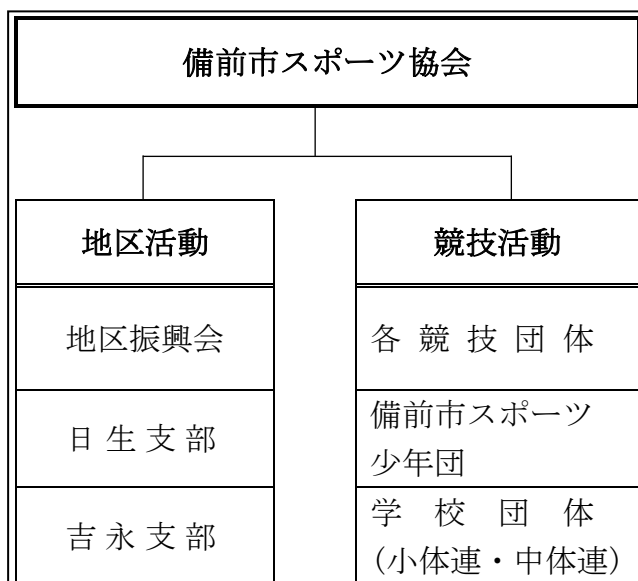


図 5 備前市スポーツ協会組織構成

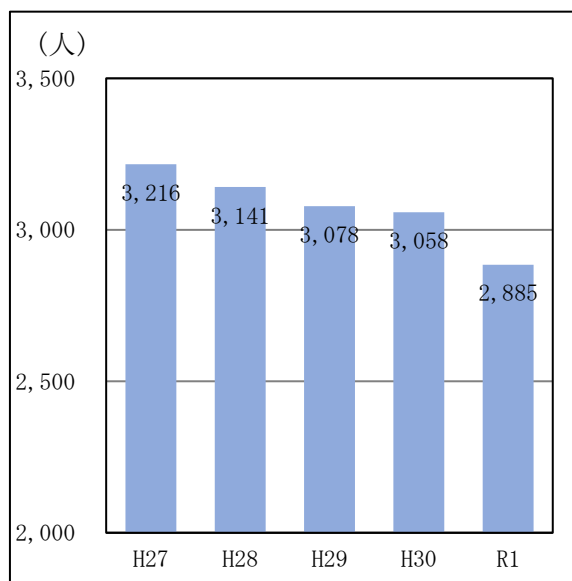


図 6 備前市スポーツ協会正会員登録

表 1 備前市スポーツ協会加盟競技団

No	団体名	No	団体名
1	備前市野球連盟	8	備前市陸上競技協会
2	備前市バレーボール連盟	9	備前市空手道連盟
3	備前市ゲートボール連盟	10	備前市太極拳協会
4	備前市グラウンド・ゴルフ協会	11	1993 備前サッカークラブ連合
5	備前市ソフトボール連盟	12	吉永山野を歩く会
6	備前市ソフトテニス連盟	13	備前市テニス協会
7	備前市バドミントン連盟		

(2) 備前市スポーツ少年団

備前市スポーツ協会に所属している備前スポーツ少年団については、現在 18 チームが加盟しています。競技種目別の内訳は [表 2] のとおりで、スポーツ少年団登録者数を [図 7] に示します。

スポーツ少年団登録者数は年々減少しており、チーム運営に苦慮している団体、存続そのものが危ぶまれている団体も出てきています。

表 2 備前市スポーツ少年団種目別チーム数

種 目	チーム数
バレーボール	6
軟式野球	3
ソフトボール	3
剣道	3
ソフトテニス	1
サッカー	1
少林寺拳法	1

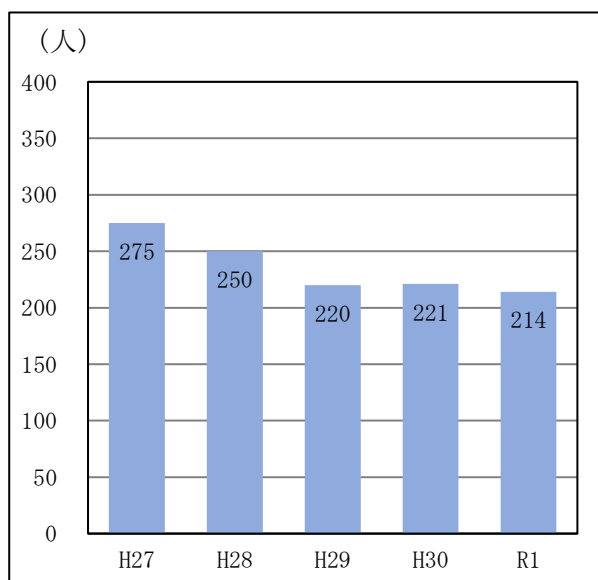


図 7 備前市スポーツ少年団登録者数(団員のみ)

## 2 子どものスポーツ習慣及び運動能力について

### (1) スポーツ(運動)習慣

[表 3] から、小学校女子では、平日の運動時間数の平均値が全国平均から約 30 分上回っています。小学校男子では週末の平均値が全国平均から約 60 分下回っています。備前市の男女で見た場合、平日、週末ともに、男子が女子より約 60 分多くスポーツ(運動)をしていることが分かります。

[表 4] の中学生についても、平日で女子は全国平均を約 20 分上回っており、男子については約 90 分下回っています。備前市の男女では、平日は約 400 分で近似した値となっており、週末については男子の方が約 30 分上回っています。

表 3 体育の授業以外の運動やスポーツの時間 [分]  
(小学校第 5 学年)

小 学 校 (第 5 学年)		平日 (月～ 金)	週末 (土日)
男子	備前市	300.0	202.6
	岡山県	305.2	272.7
	全国	298.8	264.8
	全国との 比較	0.2	▲62.2
女子	備前市	239.2	140.4
	岡山県	222.4	166.5
	全国	209.8	141.9
	全国との 比較	29.4	▲1.5

表 4 体育の授業以外の運動やスポーツの時間 [分]  
(中学校第 2 学年) ※運動部活動を含む

中 学 校 (第 2 学年)		平日 (月～ 金)	週末 (土日)
男子	備前市	408.0	261.8
	岡山県	511.5	322.8
	全国	499.7	335.3
	全国との比 較	▲91.7	▲73.5
女子	備前市	402.5	228.3
	岡山県	386.2	219.2
	全国	380.7	229.4
	全国との比 較	21.8	▲1.1

(2) 運動能力

令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果では、備前市の状況は[表5・6]のとおりとなっており、小学校の男女及び中学校の女子が多く項目で全国平均値を上回っていました。一方で中学校の男女については全国平均値を下回っている項目が見受けられました。

表 5 小学校第 5 学年運動能力(岡山県は公立のみ)

小学校 (第5学年)		握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (回)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ボール 投げ (m)
男子	備前市	15.75	21.33	33.35	43.81	50.81	9.40	154.60	21.42
	岡山県	15.79	19.90	32.16	42.28	49.69	9.37	152.69	21.55
	全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.47	21.60
	全国との比較	▲0.62	1.53	0.11	2.07	0.49	▲0.02	3.13	▲0.18
女子	備前市	15.93	19.73	38.35	42.08	42.11	9.63	147.68	14.42
	岡山県	15.55	18.77	36.33	40.31	39.36	9.60	145.94	13.44
	全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.80	9.63	145.70	13.59
	全国との比較	▲0.16	0.78	0.73	1.94	1.31	0	1.98	0.83

表 6 中学校第 2 学年運動能力(岡山県は公立のみ)

中学校 (第2学年)		握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (回)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ボール 投げ (m)
男子	備前市	28.57	25.36	37.86	51.97	75.27	8.05	201.25	18.96
	岡山県	29.01	26.63	44.43	52.84	80.88	7.90	196.00	20.70
	全国	28.64	26.85	43.43	51.87	83.13	8.02	195.02	20.35
	全国との比較	▲0.07	▲1.49	▲5.57	0.10	▲7.86	▲0.03	6.23	▲1.39
女子	備前市	23.99	22.92	45.93	48.06	56.66	8.79	173.07	12.33
	岡山県	24.10	23.07	46.96	47.69	55.83	8.73	170.30	13.30
	全国	23.74	23.58	46.29	47.25	57.98	8.81	169.71	12.87
	全国との比較	0.25	▲0.66	▲0.36	0.81	▲1.32	▲0.02	3.36	▲0.54

### (3) 総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブは、人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子供から高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴をもち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。（参照：スポーツ庁）

備前市内では「びぜん優くらぶ」と「ひなせオレンジクラブ」の2つの総合型地域スポーツクラブが活動しています。

それぞれに多種目の教室を運営していますが、やはり少子化等によりクラブ員不足が課題となっています。

### (4) 海洋クラブ

海洋スポーツの普及・発展及び競技力の向上を目的に活動を行っています。毎年クラブ員を募り活動していますが、海洋クラブにおいては指導者不足が顕在化してきています。他の団体と同様に会員不足と併せて指導者の確保も課題となっています。

### 3 競技スポーツ

#### (1) 大会の開催

備前市体育協会加盟の各種競技団体においては、県大会等へ繋がる予選会の開催や、体育協会長杯、市長杯等を開催し、競技レベルの向上や目標達成の場を提供しています。また、備前市総合運動公園多目的競技場では、第3種公認陸上競技場として、ジュニア層の育成を目指して多くの競技会や記録会を開催しています。

その他、備前市スポーツ少年団の所属団体においては、他市町村との交流大会を開催する等、競技力の向上や、スポーツ交流などを行っています。

また、県内外から参加者を募る備前市えびす駅伝競走大会や備前♡日生大橋マラソン等の大規模な大会を行っています。

#### (2) 競技レベル

備前市では、国あるいは岡山県を代表して、中国大会以上の大会に出場することとなった選手に対し、激励金を交付しています。[表 7]により、中国大会以上の大会に出場した選手(備前市在住)を示します。例年、国を代表して国際大会に出場する選手がいます。また、毎年 50 名以上の選手が全国大会に出場され、高いレベルでの競技を行っています。

表 7 備前市全国大会・国際大会等出場者激励金交付制度実績に基づく大会出場者  
(人)

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
国際大会	2	1	1	1	1
全国大会	64	72	57	57	64
中国大会	18	16	16	3	6

※激励金の交付は年度内 1 回の交付。



## 4 スポーツ施設

### (1) 社会体育施設

備前市内の社会体育施設については、以下〔表 8〕のとおりです。地域や用途に合わせてそれぞれの施設が利用されています。また、施設の利用状況を〔図 8～10〕に示します。備前市総合運動公園〔図 8〕については 20 万人前後で推移していますが、平成 28 年インターハイ時にソフトテニス競技の会場になったため全国からテニスセンターの利用があり、利用者が増加しました。日生・浜山運動公園〔図 9〕は京阪神方面からの利用があり横這いの状態です。吉永 B&G 海洋センターの利用者〔図 10〕については減少傾向となっています。各施設における設備利用の割合については、どの施設も年に関係なく同程度となっています。

表 8 備前市内の社会体育施設一覧

施設名	住所	設備等
備前市総合運動公園	備前市久々井 747 番地	体育館 多目的競技場 (第 3 種公認陸上競技場、サッカー場兼用) 多目的広場 (野球場、サッカー場兼用) 温水プール
備前市伊部運動公園	備前市伊部 2086 番地 1	運動場 庭球場 多目的広場
備前市三石運動公園	備前市三石 31 番地 1	体育館 運動場(照明施設有) 庭球場(照明施設有)
備前市浜山運動公園	備前市日生町寒河 380 番地 21	野球場 多目的広場(照明施設有) テニスコート(照明施設有) グラウンドゴルフ場
備前市日生運動公園	備前市日生町寒河 380 番地 36 備前市日生町寒河 380 番地 64	体育館 スポーツ広場 アーチェリー場
備前市日生武道場	備前市日生町日生 630 番地 1	武道場
備前市日生温水プール	備前市日生町寒河 380 番地 80	温水プール

備前市吉永 B&G 海洋センター	備前市吉永町吉永中 291 番地 4	体育館 武道場 グラウンド(照明施設有)
	備前市吉永町南方 1397 番地	艇庫
備前市吉永テニスコート	備前市吉永町吉永中 291 番地 4	テニスコート(照明施設有)

岡山県施設

岡山県備前テニスセンター	備前市久々井 747 番地	テニスコート(照明施設有)
--------------	---------------	---------------

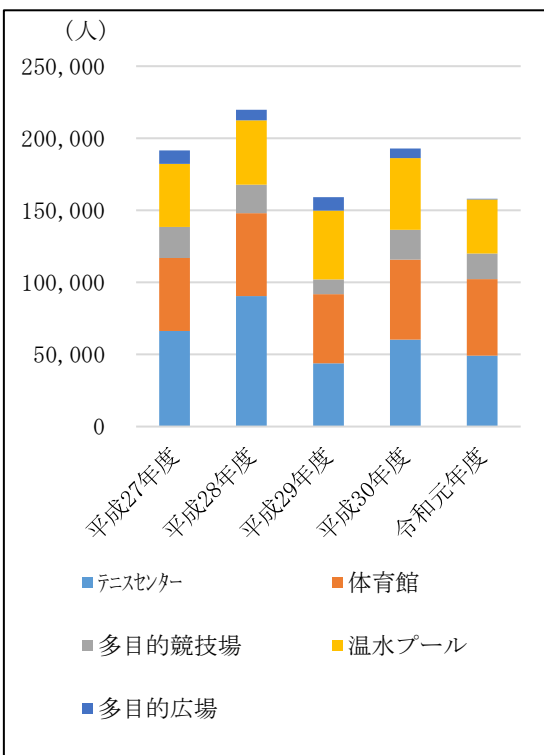


図 8 備前市総合運動公園年度別利用人数

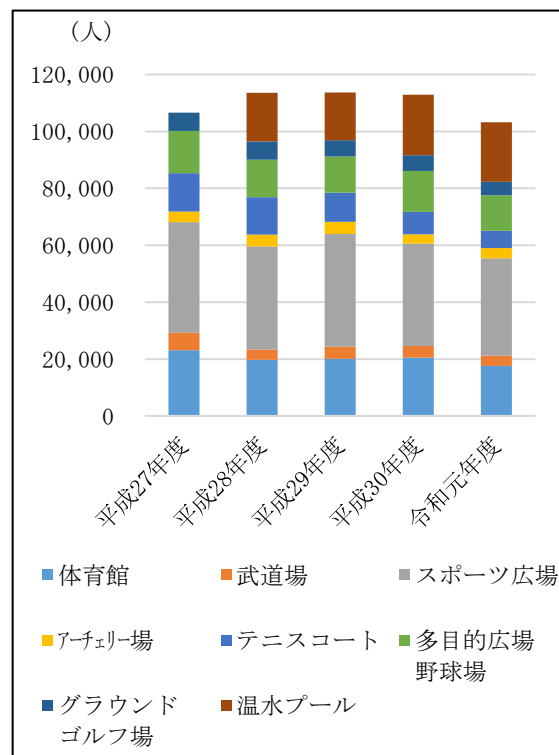


図 9 備前市日生・浜山運動公園年度別利用人数

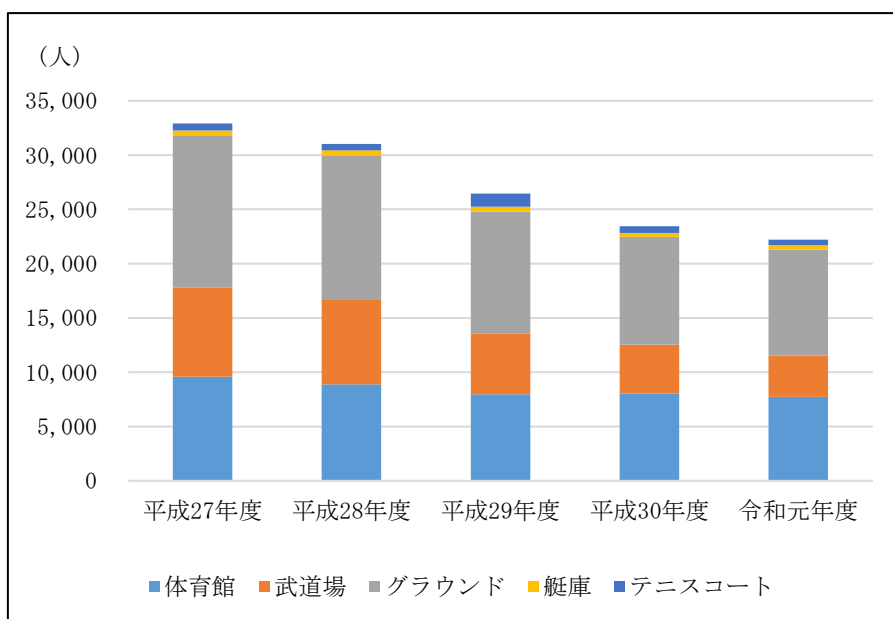


図 10 備前市吉永 B&G 海洋センター年度別利用人数

## (2) 学校体育施設

備前市では、スポーツ基本法に基づき備前市立学校の体育施設を地域住民のスポーツ等の利用を目的として開放しています。小学校 10 施設、中学校 5 施設で、運動場については、伊部小学校、片上小学校、日生中学校に照明施設が設置されています。

利用人数を、【図 11】に示します。全体で見ると減少傾向にありますが、増加傾向にある施設もあります。

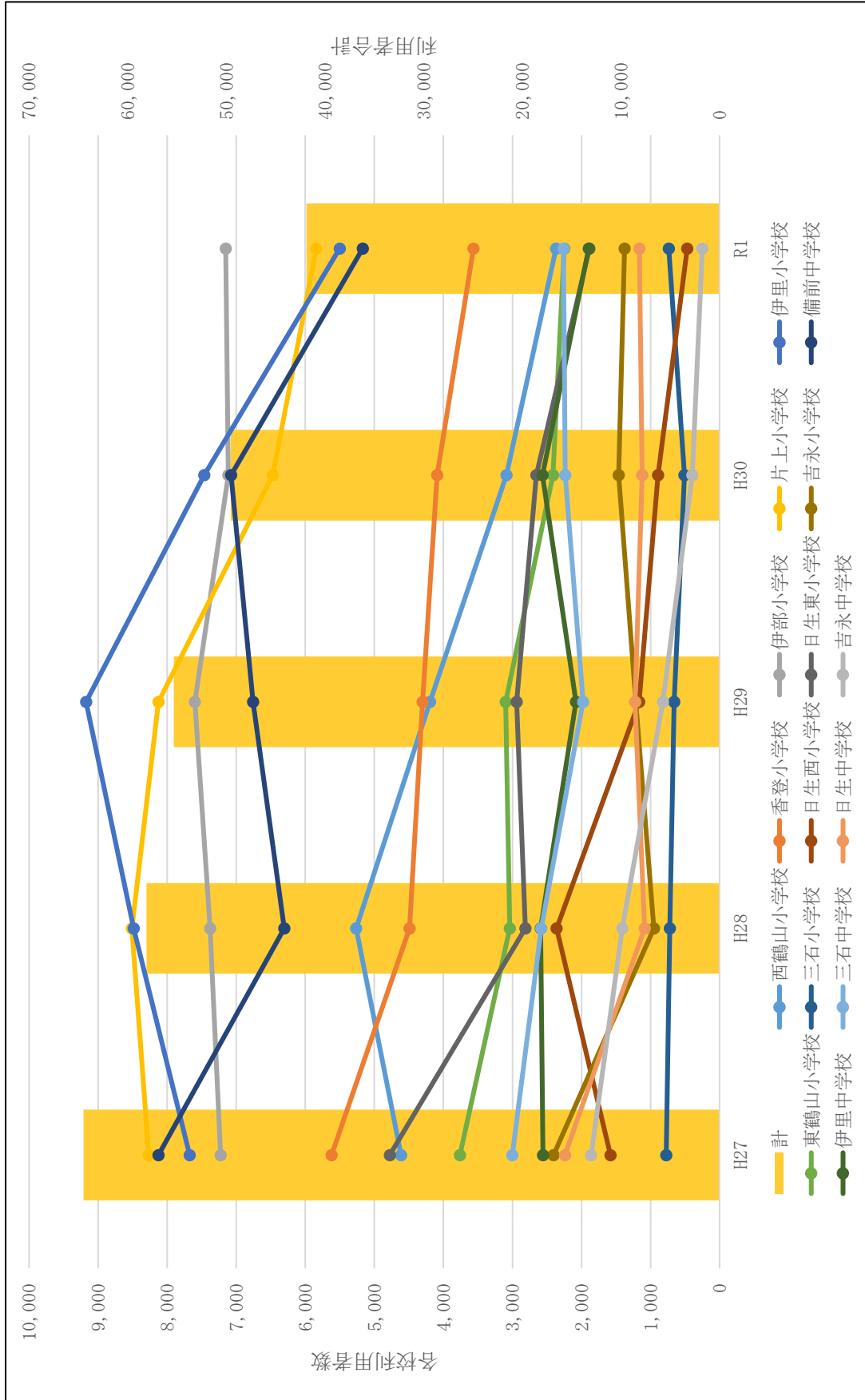
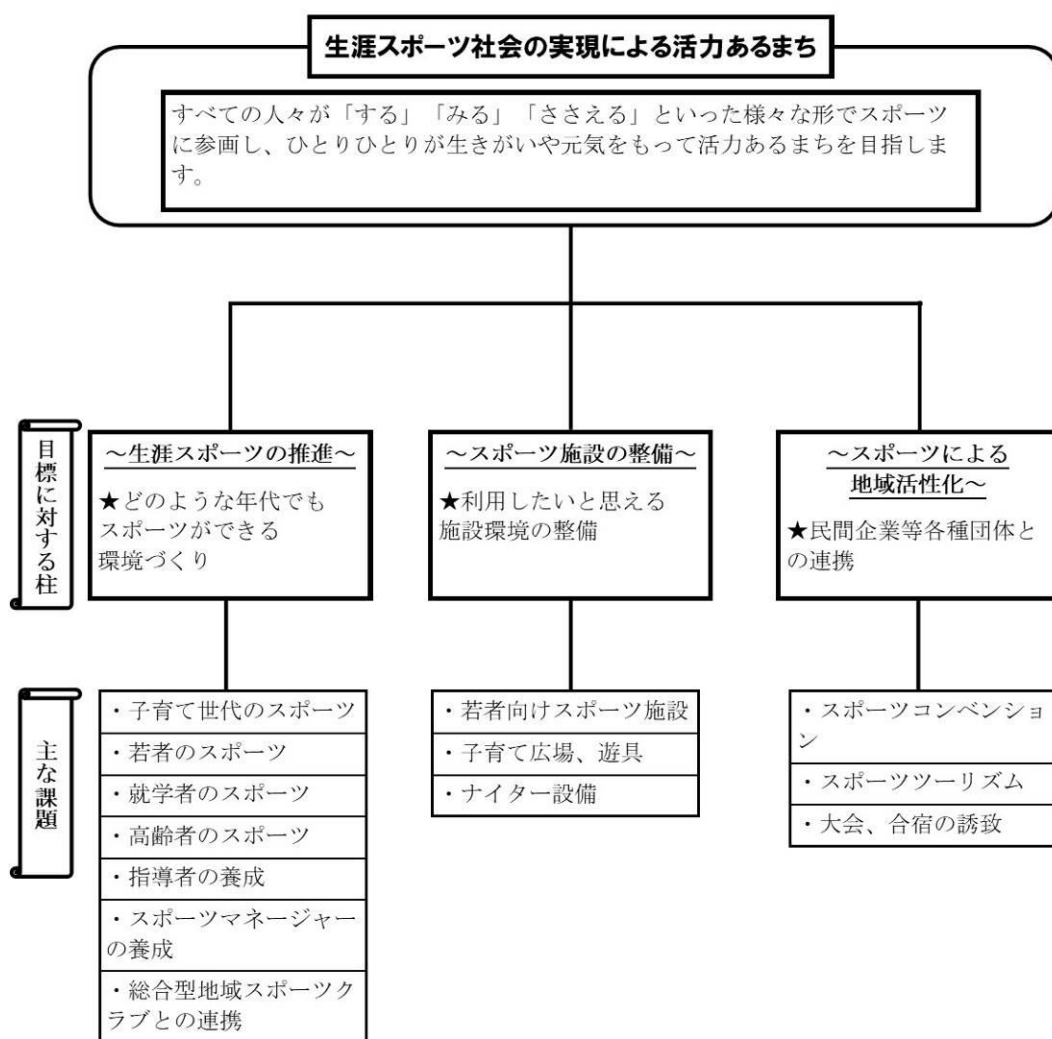


图 11 学校体育施設開放事業利用人数

### 第3章 計画の理念と体系

第1章で記述したとおり、本計画の目標は、「生涯スポーツ社会の実現による活力あるまち」を実現することです。

第4章では、第2章にて挙げた、本市における現状と課題を基に施策を立案いたします。そこで、基本施策を立案する上で、ベースとなる3つの柱とそれに対する課題を下記に示し第4章における施策の体系とします。



## 第4章 基本施策

### 1 生涯スポーツの推進

#### 1-1 各世代におけるスポーツ機会の充実

##### (1) 幼児期・幼少期

生涯スポーツを考える上では、幼少期からスポーツに触れることが必要不可欠です。遊びを中心とした身体の発育・発達を促すため、関係課との連携を深め親子で気軽に体を動かすことができる機会の充実を図ります。

##### (2) 青少年期

運動・スポーツを楽しむとともに、お互いの交流が深められるように努めます。また、スポーツ少年団への支援をはじめ、総合型地域スポーツクラブ等で機会の創出を図り、小・中学生ともに運動やスポーツの時間の確保と実施時間の向上を目指します。

小中学生とも、週末の運動時間が全国平均を下回っています。このことは、クラブ活動を行っていない人が週末にほとんど運動をしていないことが、平均値として表れている結果だと考えられます。そのために、特に週末時間にクラブ活動を行っていない人が体を動かすきっかけづくりの提唱と運動方法等を紹介する広報活動を行い実施時間の底上げを図ります。

#### 運動・スポーツ実施時間目標値〔分〕

小学校 (第5学年)	平日 (月～金)	週末 (土日)	中学校 (第2学年)	平日 (月～金)	週末 (土日)
男子	325	280	男子	500	360
女子	250	180	女子	450	250

##### (3) 壮・中年期

定期的に楽しく運動・スポーツが行える環境整備を図り、心身ともに豊かな暮らしと、健康的で幸せな人生につながるよう努めます。

特に、この世代のスポーツ実施率が低いことから、スポーツの機会創出、きっかけづくりを行わなければなりません。市としては、既存の事業であるスポーツ教室や出前スポーツ教室を積極的に実施及び広報を行い参加者の増加に努めます。また、この世代は働き盛り世代、子育て世代でもあり、スポーツにかかる時間が

ないというのも実施率低下の要因でもあります。夜間のナイター設備の充実や手軽にできるスポーツを紹介するなど実施率向上に努めます。

#### (4) 高齢期

健康づくりや疾病の予防、社会参加の促進、高齢者スポーツの振興などの幅広い観点から、個々の状況に応じた運動・スポーツができる環境整備に努めます。高齢者がスポーツを楽しみ、生きがいを築きつなげるよう、備前市スポーツ推進委員や保健福祉分野と連携し、高齢者の身体能力に応じたスポーツ教室の開催やニュースポーツの普及などに努めます。

### 1-2 スポーツを取り巻く環境の充実

#### (1) 学校体育及び部活動への支援

##### ① 学校体育の推進

学校における体力向上には、保健体育の授業や体育的活動の改善・充実、運動部活動の推進が欠かせません。そのために学校が適切に児童生徒の実態を把握し、体力向上に向けた検証改善サイクルの確立への支援を行います。また、保護者や地区体育振興会等に対し、体力向上に向けた好事例による啓発などを行い連携した取り組みを推進します。

##### ② 運動部活動の向上

運動部活動においては、中高生の競技水準を向上させるために指導者の資質向上や外部指導者の活用等、スポーツ機運の醸成と選手のモチベーションの向上を図り、競技水準向上の環境をつくります。

また、専門的な知識を有する指導者に定期的に指導を受けることは子どもたちにとっても有意義ですので、適切な指導者や活用可能な事業の有無等について、地域スポーツ団体との連携を図り、岡山県や他自治体との調整を図りながら検討を進めてまいります。

今後、生徒数減に伴う運動部活動のチーム編成に支障が生じてくると予想されることから、生徒のスポーツニーズへ対応するために、合同チームの在り方やその運営方法等の運営形態の方策を検討します。

#### (2) 障がい者のスポーツ支援

##### ① 障がい者スポーツの機会づくり

県など広域圏で開催する競技会やスポーツイベントについて、情報発信を行うとともに障がいのある人がスポーツに参加する機会の確保やサポートで社会参加を促進に努めます。

## ②障がい者スポーツ普及の環境づくり

備前市スポーツ推進委員と連携し、障がい者スポーツ指導員の資格取得など、障がい者スポーツに携わる人材を養成し、障がい者スポーツが身近にできる環境づくりを進めます。

### (3) スポーツの多様化

多様化する生活様式の中で、従来のスポーツだけでなく、新しいスタイルの「スポーツ」や「スポーツの楽しみ方」の提案を図ります。そのために、スポーツ団体、CSO※(市民社会組織)、民間企業等とも連携しながら誰もが気軽に楽しむことが出来る新しいスタイルの「スポーツ」や「スポーツの楽しみ方」について研究、提案、情報発信を行います。

また、身体と頭脳を使って他者と何かを競うものを「スポーツ」と捉えた際、昨今、科学技術の進歩により「e スポーツ」等の新しいスポーツが次々に発明されています。そのような動きにも対応できるよう、新しい運動やスポーツプログラムの研究・提案を支援します。

※CSO(市民社会組織)とは、Civil Society Organizations の略で、NPO 法人、市民活動・ボランティア団体に限らず、自治会、婦人会、PTA なども含めた社会的な組織・団体の事。

## 1-3 スポーツ実施のための体制づくり

### (1) スポーツ推進委員活動の推進

スポーツ推進委員は非常勤の公務員であり、公的性格を有しており、地域住民のスポーツに関する意思を行政に反映させ、その施策を地域社会の住民と密接に結びつける役割を担っています。生涯スポーツ社会を実現するためにもスポーツ推進委員の資質向上は必要で、研修会等へ派遣することにより推進委員個人の技術や技能を高め、地域スポーツの普及に努めます。

### (2) 体育関係団体の活動の推進

備前市体育協会及び備前市スポーツ少年団等の自主運営に向けた取り組みを支援します。人口減少に伴う活動支援や運営支援のあり方について他市町村との情報交換などにより収集し、団員募集等におけるノウハウを提供します。

### (3) 総合型地域スポーツクラブの推進

多世代にわたるスポーツニーズの受皿としての機能や地域に密着した多種目のスポーツ活動などを担う組織として、クラブが自立して安定した運営ができるよう情報提供等により支援を行います。



#### (4) スポーツ指導者の養成と資質の向上

岡山県や岡山県スポーツ協会が開催する「スポーツ指導者セミナー」など各種研修会や講習会の開催情報の提供を行い、指導者の資質向上を図ります。スポーツ技術の習得のほか、スポーツ科学、医学、栄養学などの知識を身につける機会づくりを継続的に実施し指導力向上を図ります。

また、海洋クラブ等のスポーツの専門的知識を有する指導者を確保するとともに、これらの人材を活用した講習会の開催などによりスポーツ団体の指導者のスキルアップを図ります。

#### (5) トップレベルで活躍する選手等への支援

中国大会以上の大会に出場する選手に対し、激励金の交付などを通じて、その活動を支援します。

国際大会や国民体育大会、競技種目別の全国大会等に出場し、特に優秀な成績を収めた選手、団体、指導者に対し、表彰を行い選手の意欲向上を図ります。

また、選手の情報を市民に提供し、全市での応援体制を作ります。

なお、小・中学生の県内大会における優秀な成績を収めた選手にも激励・表彰を行うことを検討していきます。

## 2 スポーツ施設の整備・活用

### 2-1 施設及び設備の整備

#### (1) 安全な施設の維持管理

安全なスポーツ施設を持続的に提供し、市民が身近にスポーツに親しむことのできる環境を整備できるよう、備前市が策定した「備前市公共施設等総合管理計画」やスポーツ庁が示した「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」に基づき、老朽化や機能低下したスポーツ施設については、計画的な改修や修繕等を進め利用者が安心して利用できる施設環境を整備します。

#### (2) 多様性への対応

障がい者や高齢者の施設利用の利便性向上を図るため、障がい者用トイレやスロープの設置などバリアフリー化を進めます。

多様性社会への対応として、全ての人が気持ちよく利用できる施設となるよう努めます。

### (3) 競技レベル向上のための施設整備

競技レベルの向上と発展のため、公式試合が可能な施設は継続して整備を行い競技レベルの更なる向上に向けた改修も検討していきます。

## 2-2 施設の利用促進

### (1) 社会体育施設

スポーツ施設における設備情報等を積極的に発信することで、ニーズに合った利用を促すことができます。そのために、ホームページ等の更なる充実に努めます。

また、オンライン予約システムや電子決済を導入を目指すなどし、利便性を向上させます。

### (2) 学校体育施設

持続可能な地域スポーツ環境を確保するためには、学校体育施設の活用を、一層進めることが重要となっています。学校体育施設は、住民にとって最も身近なスポーツ施設であることから、「地域スポーツの場・拠点」として位置づけ、多くの人に利用してもらうことで、誰もが気軽にスポーツに親しむことができる社会の実現を目指します。

学校・教師の負担軽減の観点からも、業務・事業として明確化するとともに、官民連携や財源確保等の方策を検討し、「持続可能な仕組みづくり」に取り組めます。

現在は、団体利用を目的とした施設の貸し出しのみの運用となっていますが、今後はスポーツ実施率の向上等を目的とした個人が気軽に利用できる仕組みや環境づくりに取り組みます。

併せて、多様な利用形態にも対応できるよう予約システムや電子決済を導入し、柔軟な利用予約等が行える環境づくりを目指します。

## 3 スポーツによる地域活性化

### 3-1 競技スポーツを通じた地域活性化

#### (1) スポーツ合宿等の誘致

県内・県外からのスポーツキャンプ・スポーツ合宿の誘致に取り組めます。特に、全国大会の事前練習として施設の利用と、関西方面の受け入れを中心に観光協会などと連携を図ることにより合宿等の誘致促進を行います。

## (2) スポーツイベントの誘致・開催

県内・県外から様々なスポーツイベント(大会・ゲーム)を受け入れ、備前市の情報発信や、市民がトップレベルのアスリート、またそのプレーに直接触れられる機会の創出につなげます。

さらに、継続して開催される参加型のイベントを充実させ、スポーツ人口の拡大や、県外からの参加による交流人口の拡大、地域の活性化を図ります。

## 3-2 スポーツツーリズム<sup>※1</sup>の推進

### (1) スポーツを活用した新たな価値の創出

備前市が持つ地域資源を活用し、「スポーツ」「文化」「観光」等を掛け合わせた新たな価値の創出が必要です。文化部門や観光部門及びそれに係る関係団体等と連携し、備前市としての新たな価値の創出や魅力づくりに努めます。

### (2) スポーツコミッション<sup>※2</sup>の設立

スポーツを通じた地域活性化は、行政だけでは取組めません。そのため、関係団体からなる、スポーツコミッションの設立などスポーツによる持続的な地域の活性化に取り組みます。

※1 スポーツの参加や観戦を目的として地域を訪れたり、地域資源とスポーツを融合した観光を楽しむツーリズムスタイル。

※2 地方公共団体、スポーツ団体、民間企業等が一体となり、スポーツによるまちづくり・地域活性化を推進していく組織。

## 3-3 「市民」と「スポーツ」の関わり方

### (1) スポーツと密接したまちづくり

スポーツが多様化した昨今、新しいスポーツのスタイルや楽しみ方が増えてきている中、新しいスポーツの紹介等を積極的に行い「誰もが」「手軽に」スポーツに触れる機会の創出に努めます。また、郷土出身のプロスポーツ選手の情報を密に取り扱うことによって、地元出身選手への応援等を通じたスポーツへの関心を高め、スポーツを「する」「見る」を支援します。

### (2) スポーツボランティア文化の醸成

スポーツイベントや地域で行うスポーツ教室の円滑な運営のためには、運営を支えるスポーツボランティアが必要不可欠です。そのため、スポーツボランティアの紹介やスポーツボランティアリーダーの養成に取り組み、地域全体で大会を「支える」ことが出来る参加形態を提案・推進します。

### 3-4 魅力の発信

備前市の価値の創出と併せて、その価値を発信していかなければなりません。そこで、岡山県内、岡山県外、国外のステージに分け魅力発信の方策を検討します。

## 第5章 計画の推進

### 1 推進体制

本計画の推進にあたっては、行政のほか、備前市スポーツ推進委員、備前市体育協会、総合型地域スポーツクラブなどとともに、市内関係団体等が連携・協働してスポーツの推進に取り組みます。

### 2 進行管理

本計画の進行管理にあたっては、施策の3つの柱に対する成果指標を下表のとおり定め、達成状況を定期的に把握しスポーツ推進審議会にて、その進捗状況を点検、検証し必要に応じて見直しを図ります。

指標名	単位	年度				
		2022	2024	2026	2028	2030
スポーツ実施率	%	38	45	46	47	48
施設利用者数	人	280,000	310,000	320,000	340,000	350,000
大会参加人数	人	2,000	3,000	5,000	7,000	10,000
県障がい者スポーツ大会参加者数	人	35	35	37	40	40

## 備前市スポーツ推進計画

発行年月 令和3年11月  
発行 備前市教育委員会  
編集 備前市教育委員会社会教育課

〒705-8602  
備前市東片上126番地  
TEL (0869)63-3813